

## 今だけではなく、自分の未来を考えて 就職先をきめました

Real Voice



スターゼンミート  
プロセッサー株式会社  
青森工場  
三沢パークセンター  
大芦 玲紗さん

高校卒業後の進路を決めるときに重視したのは県内就職です。県外で働くことにも魅力はあるのですが、慣れない土地で生活していくのは不安だったので、社会人の第一歩として県内就職を選びました。

食に関する仕事に就きたいという思いで会社を探していたところ、学校に来ていた求人票から食肉の加工をする今の会社を見つけました。詳しく調べてみると、同じ学校の先輩方も働いていることを知りました。自宅から通える距離はもちろん、何より実際に働いている先輩たちの声が決め手となり「安心して働ける会社なんだな」と感じました。

現在担当しているのは加工された肉を計って、指定の分量通りに箱詰めをする「計量」という仕事。チームワークが大切な仕事なので、正確に作業することを心がけています。今は何らかも勉強ですが、ミスが無く一日が

終わると嬉しいですね。小さな目標なのですが、後輩が入ってくる前に今の作業だけでなく、仕事全体の流れを覚えようと、仕事に打ち込んでいます。

十和田市に生まれて18年間青森県に住んでいます。食べ物もおいしく住みやすい地域だと思います。私の将来の目標は、働いて自立し、いつかは自分の家庭を築くことです。進路を決める時は、何十年後も先を見据えて考えることが大切だと思います。



## 大手への憧れから一転、 地元就職で充実しています。

Real Voice



多摩川ハイテック  
株式会社  
畑林 瑞樹さん

八戸工業高校を卒業し、現在も実家のある八戸市から通勤しています。当初は大手と呼ばれる県外への就職に憧れていましたが、いざ働いてみると「生活の環境が大きく変わらない地元就職を選んだからこそ、仕事に集中できているんだな」と感じました。県外に行った仲間たちの“大変だ”という声を聞くと、より地元就職の良さを実感します。

高校時代は電子科に属して、コンピュータの勉強をしていたのですが、「新しいことにチャレンジしたい」と思っていたので、分野の違う今の仕事を選びました。

その中で任されている仕事が溶接という作業です。つくる物は産業機器、特に屋外筐体や自動省力機用の構造部品など大小様々な部品ですが、部材と部材をつなぎ合わせる溶接は最終工程の1つ。簡単な作業は1つとして無いのですが、溶接後の凹凸をグラインダーで削って均一に仕上げる工程が最も難しいです。しかし、その難しさと自分の腕一つで姿を変える奥深さが溶接の楽しさで

すね。先輩たちは何をつくっても同じように綺麗に仕上げるので早く近づけるように、また、いずれ入社してくる後輩達にも指導できるように、正確性のあるものづくりを心がけています。

働きたい場所や、やりたい仕事は人それぞれだと思いますが、私の場合は入社してから得るものが大きかったです。「未経験の分野でも挑戦してやる」という意識を持って行動することが大事だと思います。自分でも知らない自分の興味にも気づけたので、この会社を選んで良かったです。

